

令和元年 9 月 吉日

公益社団法人京都府介護支援専門員会
会員 各位

主 催:株式会社日本総合研究所
共同開催:公益社団法人京都府介護支援専門員会

令和元年度厚生労働省老人保健健康増進等事業「適切なケアマネジメント手法の策定に向けた調査研究」
【ケアマネジメント標準化手法に関する実証(研修会)へのご協力をお願い】

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

弊社では現在、令和元年度厚生労働省老人保健健康増進等事業の補助を受けて、「適切なケアマネジメント手法の策定に向けた調査研究」を実施しております。本調査研究では、ケアマネジメントの実践を通じて蓄積された実践知を分析し、一定の条件に対して検討すべき支援内容の体系化をめざしたケアマネジメント標準化手法の策定を検討しております。

このたび、ワーキング・グループで検討を進めて参りました「ケアマネジメント標準化手法に関する項目シート(仮称)」が妥当であり、かつ現場で活用しやすいものとなるよう、現場での実践経験をお持ちのケアマネジャーのみなさまよりご意見を賜りたく、下記の通り「ケアマネジメント標準化手法に関する研修会(認知症)」を実施いたします。つきましては趣旨をご理解の上、実証(研修会)へのご協力をいただきたく存じます。ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、ご高配のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 研修会名; ケアマネジメント標準化手法(認知症)に関する研修会
2. 主 催 者; 株式会社 日本総合研究所
共同開催者; 公益社団法人 京都府介護支援専門員会
3. 日 時; 令和元年 11 月 1 日(金) 14 時 00 分から 17 時 00 分 (受付開始 13 時 30 分)
4. 場 所; ハートピア京都 3 階 大会議室 (京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町 375 番地)
5. 対 象 者; ・公益社団法人京都府介護支援専門員会 会員
・認知症(*)を有する利用者の事例を持参していただける方
(*)アルツハイマー型認知症の診断があつて、比較的初期～中期(目安:ADL が自立あるいは一部介助程度までであつて、認知症高齢者生活自立度でⅡb 程度までの時期)
6. 参 加 料; 無料
7. 内 容; ケアマネジメント標準化の概要及び認知症に関する項目シート(仮称)の試用並びに意見聴取
※詳細は別紙をご参照ください

【本調査研究事務局 連絡先】(株)日本総合研究所 創発戦略センター (担当)辻本 TEL:03-6833-8761
【京都府介護支援専門員会 連絡先】京都府介護支援専門員会 事務局 FAX:075-254-3971

FAX : 075-254-3971

京都府介護支援専門員会 事務局
※定員に達した時点で締切らせていただきます

申し込み期限：満席になり次第締め切り

(申込書)

【ケアマネジメント標準化手法に関する研修会】

本研修会では、ご持参いただいた事例を用いた個人ワークの時間を設けているため、**認知症(*)を有する利用者の事例を持参していただける方**にご参加をお願いいたします。

(*) アルツハイマー型認知症の診断があって、比較的初期～中期

(目安：ADLが自立あるいは一部介助程度までであって、認知症高齢者生活自立度でⅡb程度までの時期)

フリガナ							
氏名							
介護支援専門員 登録番号(8桁)							
会員番号		／ 入会予定					
連絡 先	事業所名						
	TEL		—		—		
	FAX		—		—		

※ 参加希望の方は FAX にてお申込みください。

※ 参加者には、FAX にて参加票を送付いたします。

※ 決定についての電話でのお問い合わせはご遠慮願います。

【お問い合わせ】 公益社団法人京都府介護支援専門員会 事務局

〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入清水町 375 番地 ハートピア京都 7 階

TEL : 075-254-3970

FAX:075-254-3971

Mail : cm7504@kyotocm.jp

ケアマネジメント標準化手法(認知症)に関する研修会

開催要領

1. 目的

令和元年度厚生労働省老人保健健康増進等事業「適切なケアマネジメント手法に関する調査研究」では、平成 30 年度に作成した認知症に関するケアマネジメント標準化手法【検討案】の活用による効果の検証に取り組んでいます。

現場で実践経験をもつ介護支援専門員の方に実際に利用していただいてご意見を賜ることで、認知症に関するケアマネジメント標準化手法について、より精度の高いものへと改善を図ります。

2. 参加について

(1) 対象者

認知症(*)を有する利用者の事例を持参していただける方

(*)アルツハイマー型認知症の診断があつて、比較的初期～中期(目安:ADL が自立あるいは一部介助程度までであつて、認知症高齢者生活自立度でⅡb 程度までの時期)

(2) 定員

公益社団法人京都府介護支援専門員会 会員 120 名

(3) 参加料

無料

3. 開催日時・場所

(1) 開催日時

令和元年 11 月 1 日(金) 14 時 00 分から 17 時 00 分まで(受付開始 13 時 30 分)

(2) 開催場所

ハートピア京都 3 階 大会議室(京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町 375 番地)

4. 研修内容

「ケアマネジメント標準化手法(認知症)に関する研修会」

- ・「ケアマネジメント標準化」の意味
- ・「基本ケア」標準化の概説
- ・「疾患別」標準化の概説(「認知症」を予定)
- ・事例に基づく活用と気づきの確認

5. 申込方法と参加票について

別紙申込書を FAX してください。⇒ FAX 075-254-3971(京都府介護支援専門員会 事務局)

【受付期限】令和元年 10 月 18 日(金)まで ※受付中

※定員超過の場合、ご参加いただけない場合があります。

※参加者には、FAX にて参加票を送付いたします。

6. 当日の持参書類

本研修会では、持参いただいた事例をもとにした演習(個人ワーク)を行います。

そのため、認知症(*)を有する利用者の事例のご持参をお願いいたします。

(*)アルツハイマー型認知症の診断があって、比較的初期～中期(目安:ADL が自立あるいは一部介助程度までであって、認知症高齢者生活自立度でⅡb 程度までの時期)

<持参書類の要件>

担当するケースのうち「認知症」の利用者【1事例】の次の書類

- ①アセスメントシート (必須)
- ②ケアプラン1・2・3表 (必須)
- ③担当者会議の要点 (任意)
- ④直近3ヵ月のモニタリングシート (任意)

※他の複数の疾患等をお持ちの利用者でも構いません。

※研修に参加して事例を使用することを、管理者に予め了解を得てください。

※持参書類の個人情報は全てマスキングし、研修終了後は必ず各自で事業所に持ち帰って下さい。

※持参書類を他の参加者と共有することはありません。

7. 参加者アンケートへのご協力をお願い

本研修会にご参加いただいた介護支援専門員の皆様には、研修プログラムおよび標準化手法に関するご感想やご意見をアンケートにてお伺いしますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

みなさまの現場の経験を活かしたご意見を、今後の標準化手法の検討に役立ててまいります。

8. お問い合わせについて

- (1) 本研修会の【参加】に関するお問い合わせ

京都府介護支援専門員会 事務局

TEL:075-254-3970 FAX:075-254-3971 Mail:cm7504@kyotocm.jp

- (2) 【適切なケアマネジメント手法の策定に向けた調査研究】に関するお問い合わせ

(株)日本総合研究所 創発戦略センター

TEL:03-6833-8761 (担当)辻本

以上



皆様のご参加を
お待ちしております。